

令和5年度 学校評価 (※太字は昨年度よりも上がっている割合、下線は昨年度と同値の割合です。)

領域	項目	質問内容	アンケート結果			
			(肯定的割合・%)			
			児童	保護者	地域	教職員
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	96	<u>100</u>	<u>100</u>	
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	<u>93</u>	97	<u>100</u>	95
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している				91
	学校教育目標の具現化に向けた取組を高く評価していただきました。100%の児童が「学校は明るく楽しい雰囲気である」と感じることができるよう、教師が支援していきます。					
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	92	<u>93</u>	96	91
		挨拶をよくしている	91	87	<u>100</u>	52
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	83	72		100
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	91	94		95
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	86	88	<u>100</u>	<u>100</u>
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	97	94	<u>100</u>	95
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	98	98	<u>100</u>	100
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている		93		95
「挨拶」については、職員の肯定的評価が52%にとどまりました。家庭と学校で指導内容を共通理解の上、指導する必要があることを感じました。「挨拶」「あ・は・は運動」については、毎月の生活目標とも関連をもたせ、指導を続けています。児童の学校生活の満足度や困り感を把握するために、月1回の仲良しアンケートを実施しました。また、その結果に基づいて個人面談も実施しています。いじめにつながる情報をつかんだ際は、直ちに対応策を協議し、早期対応に努めました。今後も、児童が発するサインを見逃さないよう、職員間の連携強化を図っていきます。						
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	95	98	<u>100</u>	<u>100</u>
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	<u>97</u>	96	<u>100</u>	95
		家庭学習の習慣が身に付いている	73	81		100
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	85	83		76
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	92			
図書館教育	子どもは、読書の習慣が身に付いている	67	62		91	
今年度も、地域の皆様、保護者の皆様のご支援、ご協力のおかげで、特色ある行事や取組を実践することができました。「キャリア教育」は、「児童一人一人が社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、自らの力で生き方を選択していく力を育成する」ことを目標に掲げ、発達段階に応じた計画に沿って実践をしています。今後も、活動の充実に努めます。家庭学習の習慣化については、内容や方法、長期休業中のドリルやAI型教材活用などを指導してきました。また、読書活動においては、読書月間を設定し、「赤白合戦読書カード」「図書委員会による読書集会」「先生シャッフル読み語り」「先生おすすめの本」などの読書推進活動に取り組みました。さらに、家庭での読書活動についての啓発を行っています。						
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	95	90	100	95
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	83	81		90
		体力向上に努めている	94	99	<u>100</u>	<u>100</u>
	食育	食に関する教育活動を行っている	83	95	<u>100</u>	91

健やかな体	SNSやゲームによる影響を受け、子どもの成長や発達に欠かせない「基本的な生活習慣」が乱れ、健康や生活の質に悪影響を及ぼしている状況も見られます。家庭・地域との連携、学校保健委員会との協働により、メディアコントロールの力を身につけさせていく必要があることを感じています。食育については、感謝の気持ちを行動で表すこと、食事のマナー・望ましい食習慣を身に付けることなどを目標にして実践を行っています。食育については、給食委員会による残菜調査を行い、SDGsと関連させた食品ロス削減にも取り組み、児童の食に関する意識は高まっています。					
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	95	98	100	100
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	91	96	100	95
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている		97	100	100
教育環境	子どもを守るネットワークとの共催による防犯パトロールや安心安全メールでの情報共有により、児童の見守り体制を強化することができています。学校ホームページを見てくださる方が増え、日々の学校の様子を多くの方に知っていただけることをありがたく思います。					
環境整備	教育環境が充実し、整備されている	95	95	96	81	
今年度も、保護者や地域の方々には、夏休み中の清掃活動や図書室や玄関の環境整備等にご協力をいただきました。施設設備の老朽化による不具合は、経費も考慮しながら、計画的な整備に取り組んでいます。						

【保護者167名、地域23名の回答】

[保護者からの気付き等]

保護者から	家庭では体験できない稲刈り・もちつき・元気野菜作りなどがあり、とてもいいと思います。その分、授業時間が他の学校より少なくなっているのではと、少し心配です。
学校回答	各教科・道徳・特別活動等の標準授業時数が国によって定められており、地域や学校の特徴を生かしながら授業の内容を創意工夫し、学校の教育課程(カリキュラム)を編成しています。今後も、児童の資質・能力を高めるための創意工夫を行っていきます。
保護者から	登校中に、赤信号の横断歩道を渡ったり、ガードレール外の車道を歩いている児童がいましたので、注意をしたことがあります。車が多い所なので、学校でも指導をお願いします。
学校回答	今後も、ご家庭や地域からの情報を指導に生かし、安全教育を進めます。交通安全・けがの防止・荒天時の行動等についての指導を続け、児童の危険察知能力・危険回避能力を高めたいと思います。
保護者から	学習者用コンピュータを使った教育について：低学年、中学年のうちは、紙面での読み書きの学習に重きを置き、コンピュータを使う学習は最小限にしてもらいたいです。
学校回答	学習者用コンピュータの活用は、あくまでも学習の手段の一つであり、紙面での読み書きも依然として重要な学習方法だと考えています。子どもたちの学力向上や、社会に必要な情報活用能力の育成のために、指導を充実させ、適切に活用できるようにします。
保護者から	トイレをもう少しきれいにしてほしいです。
学校回答	計画的な整備、清掃の徹底に取り組んでいます。手の行き届いていないところを再確認し、気持ちよく使えるようにしていきます。

[子どもが参加した地域の行事](2学期までの行事)

1000人ラジオ体操	140人
横尾盆踊り	71人
横尾まつり	193人